

臨海部の道路網の整備に関する要望

平成17年11月30日

横浜市幹線道路網建設促進協議会

会 長 藤 木 幸 夫

横浜港は、国際貿易港としての機能はもとより、生産やエネルギーの拠点として、広く後背地を含めた地域の産業と経済を支えております。また、国が提唱する「スーパー中枢港湾」構想については、横浜港がその一端をしっかりと担うためにも、港湾施設の整備とともに、民間事業者と関係行政機関が連携した「使いやすい港づくり」を進めていく必要があります。

本年改正された港湾法では、特に戦略的なコンテナふ頭の運営にあたる民間事業者の施設整備に対して、無利子融資というかたちでの国と管理者である自治体の支援がはじめて制度化されたところですが、この新しい制度の適用第一号として、本牧ふ頭BCコンテナターミナルがきたる12月に全面供用される予定となっています。

これらのターミナル整備を含め、横浜港が「スーパー中枢港湾」として機能するためには、貨物が集まる施策を総合的かつ具体的に展開する必要がありますが、この観点から最も急がれる課題が、道路網の整備であるといえます。

特に、昨年4月に開通した国道357号横浜ベイブリッジ区間については、本牧ふ頭と大黒ふ頭の連絡を飛躍的に強化するとともに、都心部を通過せざるを得なかった港湾関連交通が横浜港の上空を行き交うことができることとなり、その整備効果は絶大でありました。一方、旺盛な利用ニーズのため、既に混雑がみられはじめており、早急な対策が求められるとともに、今後とも「スーパー中枢港湾」たる横浜港にふさわしい、臨海部の道路交通網の強化を図ることが必要であります。

つきましては、国等において次の事項について取り組まれるよう、強く要望いたします。

臨海部道路網の整備促進

- ・本牧ふ頭の再編整備の進捗にあわせ、国道357号（ベイブリッジ区間）へ接続する臨港道路の整備促進
- ・国道357号及び本牧臨港道路・本牧側出入口の改良

横浜市幹線道路網建設促進協議会

横浜港運協会

会 長 藤 木 幸 夫

(社)神奈川経済同友会

代表幹事 小 谷 昌

代表幹事 平 澤 貞 昭

(社)神奈川県経営者協会	会 長	高 橋 忠 生
(社)横浜貿易協会	会 長	西 田 義 博
(社)神奈川県トラック協会	会 長	大 塚 義 一
(社)横浜建設業協会	会 長	白 井 享 一
横浜商工会議所	副会頭	星 野 正 宏
大黒ふ頭連絡協議会	会 長	小此木 歌 藏
(社)横浜港振興協会	会 長	徳 川 恒 孝
(社)神奈川県建設業協会横浜支部	支 部 長	三 木 崇 雄
(社)神奈川県産業貿易振興協会	会 長	神 谷 光 信
(社)神奈川県タクシー協会横浜支部	支 部 長	新 井 聖 員
(社)神奈川県バス協会	会 長	齋 藤 寛
神奈川倉庫協会	会 長	松 木 俊 武
(社)横浜市工業会連合会	会 長	貝 道 和 昭
(社)横浜青年会議所	理 事 長	黒 川 勝
神奈川県軽自動車協会	会 長	稲 津 忠 生
神奈川県信用金庫協会	会 長	服 部 眞 司
(社)神奈川県自動車会議所	会長代行	齋 藤 寛
(社)神奈川県自動車整備振興会	会 長	中 山 春 雄
神奈川県自動車販売店協会	会 長	平 野 裕
神奈川県中古自動車販売協会	会 長	山 田 久 男
(社)神奈川道路建設協会	会 長	石 川 久 夫
(社)神奈川ビルディング協会	会 長	吉 田 貞一郎
(社)横浜銀行協会	会 長	小 川 是
(財)横浜港埠頭公社	理 事 長	岡 本 坦
(財)横浜観光コンベンション・ビューロー	理 事 長	松 田 昌 士

新流通よこはま	会 長	三 柴 雅 由
(社)横浜市商店街総連合会	会 長	岡 野 誠 一
横浜船主会	会 長	三 澤 豊
横浜陸運事業協同組合	代表理事	竹 和 祐 治
横浜旅客自動車協同組合	代表理事	藤 井 調
(社)神奈川県空調衛生工業会	会 長	川 本 守 彦
(社)神奈川県電業協会	会 長	内 藤 幸 一
(社)神奈川県宅地建物取引業協会	会 長	杉 浦 武 胤
京浜臨海部活性化協議会	会 長	殿 岡 茂 樹
横浜市建設コンサルタント協会	会 長	菅 原 健 二
横浜市地質調査業協会	会 長	井 澤 和 男